

エスメディアムック7522



キャラバンファン

COMING SOON!

キャンピングカーの新機軸
リチウムイオンバッテリー車

driver UTO AMPER

NISSAN

NV350

CARAVAN

The PRIDE of CARAVANIST

2017-2018

fan
vol.

熱きキャラバニストたちへ

キャンプ | 車中泊 | アウトドアスポーツ |

日産キャラバンを

極める

完全
保存版

実用派からコダワリ派まで

厳選 アイテム 350超

カスタマイズ
パーツ
詳解!

CUSTOMIZED PARTS



初めてのキャラバン選び **最新&定番** 人気モデル収録

キャンピングカー & トランスポーター カタログ2017-2018

NV350 CARAVAN CAMPING CAR & TRANSPORTER CATALOG

CARAVANIST in NV350 CARAVAN 私のキャラバン



●前向き5人乗車が可能で、後部に常設2段ベッドを備えるベッセル。カタログ上ではハイエース用レイアウトだが、展示場に工場を併設するピークルならキャラバン版(タイプC)も製作可能。マルチルーム(レイアウト自由)はトイレスペースとしても使える

嶋根教治さん、ミユキさん

Owner
01

埼玉県
川口市

ビルダー名/車両名:ピークル/ベッセル・J type C

購入年月:2016年9月 | 走行距離:6000km

名湯を訪ねて

車中泊で全国を旅する

仲良し夫婦の相棒

人がキャンピングカーに求めるモノは、百人百様。

だから、自分たちにピッタリのクルマに出会えた人は幸運だ。

嶋根さんはそんな幸運なオーナーの1人。

だからこそ各地に出かけ、着実に走行距離を伸ばしている。

文と写真 小松ひろ



使えるサイズで車内は広々

昨年9月に納車された直後から、能登房総、福島など、奥様と2人でクルマ旅を楽しんでいる嶋根さん。定年退職後で「慌てる必要はないから」と下道をのんびりと移動し、温泉施設のある道の駅にクルマを止めては車中泊している。愛車ベッセルは、既に嶋根さんご夫妻にとって欠かせない相棒となっているのだ。

初めてのキャンピングカーだっただけに、クルマ選びの段階ではさまざまな展示場へ見に行ったという。「キャブコンも見だし、ほかに見積もりを出してもらったクルマもあった」そうだ。最終的には自宅の近くに店舗を構えるピークルで見たキャンピングカー「ベッセル・J」のレイアウトが気に入った。これまでブルーバード、プレサージュ、セレナと、日産一筋で乗り継いできた嶋根さん。キャンピングカーもキャラバンで……と思っただが、ベッセルは、カタログでの設定がハイエースのみ。だが自社工場を持つピークルはキャラバンでの製作を快く引き受けてくれた。そうしてベッセルのキャラバン版、「タイプC」が完成した。

バンコンを選んだため、「ナビで細かい農道を案内されたとき、キャブコンだったら通れたかどうか」「レジャー中心だけど、買い物にも使える」など多くのメリットがあった。当初、セレナと比べ相当大きいと感じたが、それも慣れで克服問題はないという。もちろん、車内の広さ・快適さはキャラバンの圧勝だ。

初めてのキャンピングカーだけに、現時点で完璧なわけではない。「電子レンジがあれば便利」とは思うし、そうなるかと電気系の強化も要るかもしれない。しかし、まだベッセルとの生活は始まったばかり。その辺りの試行錯誤も、愛車の絆を深めるのに一役買うのだろう。

ゆとりある車内空間で、 気ままなふたり旅



●2人での使用だから、基本レイアウトはこの状態。「セカンドシートはベッドにしたことはない」ども。近場の移動(買い物など)では奥横は後席に座ることが多いそう。前席はシート位置が高く、乗り降りがしにくいからだが、キッチンの使用頻度は低く、「一度歯を磨いたくらいかな」とのこと



充実の装備で車中泊も快適

●常設2段ベッドは展開の必要もなく、使い勝手良好。セカンドシートもそのまま、わずかに背もたれを調整するくらいで済む。出かけるとき持っていくのは「寝袋くらい」と話す。オーバーヘッドコンソールなど適所に収納があるのは心強い



●購入時、四駆や電子レンジの優先順位は下げたが、FFヒーターや冷蔵庫は外せなかった。FFヒーターがあれば真冬の車中泊も快適だ



●フリップダウンモニターもセット。使用時だけ展開するタイプなので、スペース効率面にも優れている。スピーカーなど、オーディオ装備も充実していた



●オーナーの要望で追加されたファン。「樹脂部分が日差しでやられる」と言われたので自宅のカーポートを作り直したそう。愛車と長くつき合う態勢を整えた



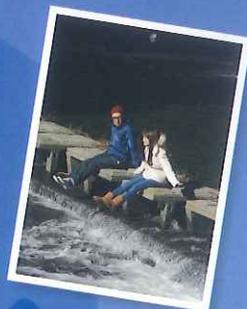
●リヤゲート下側から車内を見た様子。左側のマルチルームには簡易トイレが置いてあるが、まだビニールかかったまま。空間を広げることも可能だが、用途はしばらく検討中

NV350のキャンピングカーで
満足度350%のクルマ旅!

車中泊 & 房総海山 ドライブ!

限られた時間で、自由な旅をめいっぱい楽しみたい。
そんなわがままもキャンピングカーなら叶えてくれる。
快適な旅や車中泊を可能にする装備や機能が充実した
NV350キャラバンベースのキャンピングカー「リブロ」で
千葉・房総半島の名所を巡るクルマ旅に出発!

文=伴 隆之 写真=川原憲一 モデル=有村優花



山あいをのんびり走る 黄色いムーン列車

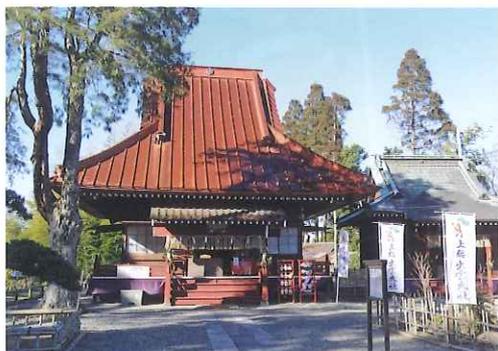
●ローカル鉄道ファンに人気のいすみ鉄道。大原駅～上総中野駅まで14駅を往来。春には沿線一面に菜の花が咲いて見事。週末は旧型のキハ28でスイーツや食事が楽しめるグルメ列車も出ている（要予約）



のどかな駅はまるで 童話の世界

●国吉駅は別名「風そよぐ谷国吉駅」とも言われ、2009年のムーン列車運行に合わせて駅構内にはムーンショップもオープン。利用者用の無料駐車場もあるので、クルマと鉄道の両方の旅が楽しめる

ダブルパワースポットで運氣よ来い恋こい



国吉神社

千葉県いすみ市苅谷630

●1500年ほど前に御領地として置かれ、その後、諏訪大神より勧請し建立された。明治には周辺の二十八柱の神々を祀る国吉神社となる。神殿裏には樹齢300～400年と言われる巨大な銀杏の御神木があり圧巻だ



上総出雲大社

千葉県いすみ市苅谷630

●国吉神社の隣にあり、大国主大神で知られる島根県にある出雲大社から分祀された神社。御神徳は縁結びで、仕事や恋愛など良縁にいいとされ多くの参拝客が訪れている

千葉県と聞いて思い浮かべる場所といえばどこだろう。多くの人は首都圏に近い東京デイズニールゾートや、日本の空の玄関とも呼べる成田空港を挙げるはず。そのほかにも、多くのショッピングモールをはじめ、マザー牧場、東京ドイツ村など、テレビや雑誌に多く取り上げられ、賑わいを見せる観光スポットが多数ある。しかし、今回はそうしたメジャーな場所ではなく、キャンピングカードからこそ

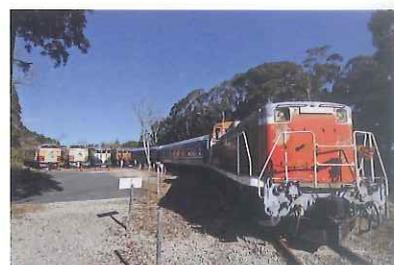
古きよき日本を感じながら のんびりドライブを満喫

のんびりドライブできそうな風情ある土

ポッポの丘

千葉県いすみ市作田1298 ☎0470-62-6751 営業時間10:00～16:00 火～木曜休（祝日は開場） 入場無料

●昭和に活躍した鉄道車両を展示する私設博物館。千葉県内で使用されていた車両以外にも特急列車や寝台車、ケーブルカーなどレアな車両が小高い丘の上にズラリと屋外展示されている



●懐かしいディーゼル車や寝台車、特急列車は見応えあり。手こぎペダルで進む玩具「テトロ」はコーナー時に脱線してしまうこともあるが、子供も大人も楽しめる。園内はペットの同伴もOK

●ポッポの丘は鶏卵牧場が運営しているので、鉄道グッズのほかに卵の直売所もある。列車内に設けられた食事処では、さまざまな電車を眺めながら新鮮な卵かけごはんが味わえる

丘を越え、木立を抜けて
いにしえの時代にトリップ

房総の小江戸 100万石の城下町へ



●いすみ鉄道本社に隣接する大多喜駅は鉄道の車庫もあり、鉄道ファンにも人気の場所。駅舎の向かいには「観光本陣」と呼ばれる観光センターがあり、地域の情報発信やお土産の販売、手荷物の預かりなどを行なう。駅の周辺は街を囲むように夷隅川が流れており、国の登録有形文化遺産にもなっている家屋や旅館、商店などが点在。江戸時代の雰囲気を感じられる。駅のそばには駐車スペースもたっぷりな町営駐車場があり観光もしやすい

道の駅 たけゆらの里おおたき

千葉県夷隅郡大多喜町石神855
☎0470-82-5566 無休

●養老溪谷からほど近く、国道297号線沿いに位置する道の駅。1000mを超える山がない千葉県だが、ここは低山と呼ばれる里山が周辺に多く、タケノコやイノシシ肉の産地として知られる。駅舎ではこれらの特産品をはじめ、捕れたて野菜が購入可能。食事処では写真の忠勝カレーやたけゆら定食、たけゆら猪どんぶり膳など地元料理が人気



●観光センターではレンタルサイクル、人力車もあり。レンタルサイクルは1日300円で電動アシスト付きも用意（5000円）。城下町を散策するのにおすすめ



●青龍・日吉神社にある3本のねじれ杉の木は、昇り龍のごとく運気がアップするといわれるパワースポット

大多喜城（県立中央博物館大多喜城分館）

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 ☎0470-82-3007
開館時間9:00～16:30 月曜日 入館料大人200円



●大多喜城内にある博物館では房総の武家や庶民の生活に関する資料を展示している

地を巡ろうと決めた。
千葉県面積の大半を占める房総半島。「房総」とは、明治時代の廃藩置県以前に使われていた地域を表す国名において、千葉県が安房国、上総国、下総国から成り立っていることから命名された。房総半島は西側が東京湾、東側が太平洋に沿っていることからそのエリアを内房、外房とも呼ぶ。半島の南側に位置し、内房と外房をぐるりと囲う南房総エリアは温暖な気候はもちろん、魚介や果物の名産地としても有名。1997年に東京湾アクアラインが開通してからは、都心からは関東で一番早い春の訪れを感じることもできるスポットだ。
早朝、都心を出発し、向かうは外房方面。昔から鉄道ファンは多いが、残念ながら筆者はその類から外れる。しかし、アクアラインを抜け市原舞鶴ICを降り、国道297号から465号へ入り、国道と併走する線路をおだやかに走る1両編成の列車の姿に心を打たれた。のどかな景色に似合う列車はまるで日本の原風景を見るかのようだ。
ちよつとした興味が湧き、自然と近くにある国吉駅へと向かった。駅舎も昔ながらの佇まいで、ホームに立つとベンチには列車を待つ地元の人が日向ぼっこをしている。特に時間に追われた旅でもないで列車がホームに入る姿をひと目見ようとベンチに腰をおろす。しばらくすると、遠くから黄色のかわいらしい車両が姿を現した。乗客はさほど多くはないものの、庶民の足としてなくてはならない存在だなど実感。少子高齢化が進む日本で、都市部にはない温かさを感じ、思わずほんわか気分になった。列車を見送り、駅舎を出たところにちょうど周辺地図があり、とりあえず近くの神社や観光スポットを散策してみることにした。



RVパーク 七里川

千葉県君津市黄田919-2
☎090-1033-1334

●房総半島の中央、豊かな自然にあふれた山間の一角に位置し、養老渓谷や濃霧の滝など周囲に景勝地が多く好立地。電源付き駐車場は3台用意され1泊1台1000円(電源使用の場合は2000円)。敷地内には囲炉裏付きゲストルームもあり、電子レンジや冷蔵庫のほか薪ストーブも完備



温泉とバーベキューがあれば、旅は最高!



バーベキューもできる
ゲストハウスが利用価値大!

●ゲストハウスは1000円の囲炉裏使用料を払えばバーベキューもできる。車内調理もいいが、道の駅で購入した食材を囲炉裏で焼くというぜいたくな時間が過ごせるのはここならではの。利用者同士のコミュニケーションもできて最高だ



料理なら
まかせて!



●ゲストハウスで食事や後片付けができ、暖もとれるので夜は車内で寝るだけ。近くに街灯も少なく、星空観察をするのにもぴったり

RVパーク七里川に隣接する入浴施設



七里川温泉

千葉県君津市黄田921-1 ☎0439-39-3211
日帰り入浴大人800円、3歳~中学生400円 第1・3水曜休

●築50年の風情あるたたずまい。館内各所に大きな囲炉裏裏端があり、アラカルトで食事も楽しめる。また、別途料金で持ち込みバーベキューもできる。お風呂はアルカリ性の硫黄泉で源泉掛け流し。内湯のほかに露天風呂もあり、満天の星を眺めながらの入浴は格別だ



RVパークはとても便利で旅の安心感がグンとアップ

外房というと、御宿や勝浦をはじめとした海沿いの街やマリンスポーツアクティビティを連想しがちだが、内陸部にも見所が多い。大多喜町は「房総の小江戸」とも呼ばれる地で、江戸時代から変わらぬたたずまいを残す建物が多く点在する。

大多喜駅前にある観光センターで、自転車レンタルして大多喜城へ。昨年の大河ドラマ「真田丸」の登場人物で藤岡弘、さんが演じた徳川四天王の一人、本田忠勝が築城し城主となった大多喜城跡は、城郭様式の博物館が建てられ、房総の中世・近世の歴史資料を展示。ほかにも、青龍・日吉神社といったパワースポットなどを巡り城下町散策を楽しんだ。

いつもだと観光地や温泉を巡り、道の駅で少し仮眠。というスタイルが多いが今回の旅は最近よく耳にする「RVパーク」を利用しようと考えていた。RVパークとは、一般社団法人日本RV協会が推進する車中泊施設。最近では車中泊カーやキャンピングカーユーザーが気軽に泊まれる場所として人気を集めている。

RVパークは24時間利用可能なトイレのほか、100V電源が使える、さらにゴミの処理もしてくれる。車中泊にはとても便利で、おまけに、利用料金もホテルやキャンプ場に比べればずっとリーズナブル。SAやPA、道の駅での仮眠だと周囲にも気を遣うがそんな心配は無し。駐車スペース内であればテーブルやイスも外へ持ち出せるのもうれしい(車外での調理は不可)。RVパークは全国に84か所あり、千葉県には本日宿泊予定の七里川と南房総・白浜の2か所がある。

途中、道の駅で食材を調達し夕方にRVパーク七里川へと到着。房総半島の中央あたりに位置し、小さな山々が望める

RVパーク 南房総・白浜

千葉県南房総市白浜町滝口9240 ☎0470-38-5519

※2017年4月から道の駅白浜野島崎が水曜定休になるため、休業日は要確認

●関東最南端の道の駅である「白浜野島崎」内に2016年オープン。駅内に食事処や休憩所はないが、近くにコンビニや食事処、入浴施設が多数あるため不便はない。夜間はクルマの出入りも少なく就寝しやすい。南房総観光の拠点としても最適だ

ゴミは指定の袋に入れてね♪



●利用料は1泊(24時間)1台1500円(電源使用の場合は2500円)。電源を使用する際は16時までに受付を済ませ、電源ボックスのカギを受け取る。ゴミの処理代は無料



花に囲まれたRVパーク



●白浜は12月から菜の花が咲くほど温暖な気候。キンセンカの栽培が有名で、キンギョソウは日本一の産地となっている。春は多くの種類の花が咲き町を彩る



キャンピングカーなら 旅先でも快適に衣・食・住



●セカンドシートを反転させればコの字型ダイネットに早変わり。キッチンへのアクセスもよく家族みんなでくつろげる。キッチン前の通路に荷物なども置ける余裕の設計



Vehicle Reabro ●リプロ

乗車定員 7人 就寝人数 3+2人 登録ナンバー 8

ベース車両: キャンピング種車スーパーロング標準幅ハイルーフ

価格: 421万4000円~

㈱ビークル 埼玉県草加市谷塚仲町287-6 ☎048-927-5678

●セカンドシートにFASPを採用し、横座りのサードシートも展開すれば広大なベッドスペースが出現する。最後部にはモダンなキッチンを配置。2段ベッドも装備し、ファミリーにも使いやすいモデルだ

●天井に格納されたマットで2段ベッドの設置も可能。1800mmの長さに対応する作りで大人も就寝可能。ハイルーフベースなのでクリアランスも十分



●サードシートに格納されるバーを橋渡しし、セカンドシートをフラットにすれば簡単にベッドが展開できる。寝心地も抜群だ



養老渓谷から南房総までは鴨川有料道路を使えばあつという間。安房鴨川から国道128号を右折し、海沿いをひたすら南下。宿泊予定のRVパーク南房総・白浜へ。ここは道の駅白浜野島崎に併設されている。クルマを止め、房総半島最南端である野島崎灯台を散策。灯台展望台から見る太平洋は夕日が映えて美しい。近くには食事処も多く、ホテル南海荘やリゾートin白浜では日帰り入浴もできる。RVパークの徒歩圏内にこういった観光地があるのはうれしい限り。

最終日は鴨川方面へと戻り、鴨川シーワールドへ。ここは、水の一生をテーマにそこで暮らすさまざまな生き物をその自然環境を再現して展示。シャチやイ

走りのよさと居住性に優れた
キャラバンなら車中泊旅も快適

滝めぐりで思いっきりマイナスイオンを浴びてリフレッシュしたら、SNSやブログなどで話題になっている共栄&向山トンネルへ。養老渓谷近く、県道81号線を脇に入るとトンネルが姿を現す。何気なく入ってみると、縦に2つ並んでいる出口が出現して驚いた。上のトンネルは旧道の名残。トンネル内には戦時中に使われていたという防空壕も残っていて、時の流れを感じる。

次は、こちらも口コミで広がった話題のスポット濃溝の滝。道の駅ふれあいパーク・きみつ近くの清水溪流広場内にある滝は、時間や時期により陽光の差し込み方が変わり、さまざまな表情を見せるという。タイミングにより陽光と水面に反射する光でハート型を描くことがあり、カップルにも人気だ。最近では観光バスのルートになるほど多くの人で賑わう。そんなハートをひと目見ようと思ったが、待てども願いは届かず。濃溝の滝を後にし、南房総へとクルマを向けた。

養老渓谷から南房総までは鴨川有料道路を使えばあつという間。安房鴨川から国道128号を右折し、海沿いをひたすら南下。宿泊予定のRVパーク南房総・白浜へ。ここは道の駅白浜野島崎に併設されている。クルマを止め、房総半島最南端である野島崎灯台を散策。灯台展望台から見る太平洋は夕日が映えて美しい。近くには食事処も多く、ホテル南海荘やリゾートin白浜では日帰り入浴もできる。RVパークの徒歩圏内にこういった観光地があるのはうれしい限り。

最終日は鴨川方面へと戻り、鴨川シーワールドへ。ここは、水の一生をテーマにそこで暮らすさまざまな生き物をその自然環境を再現して展示。シャチやイ

車中泊 房総海山 ドライブ!



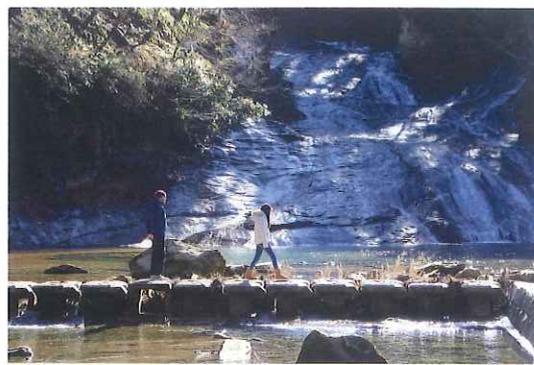
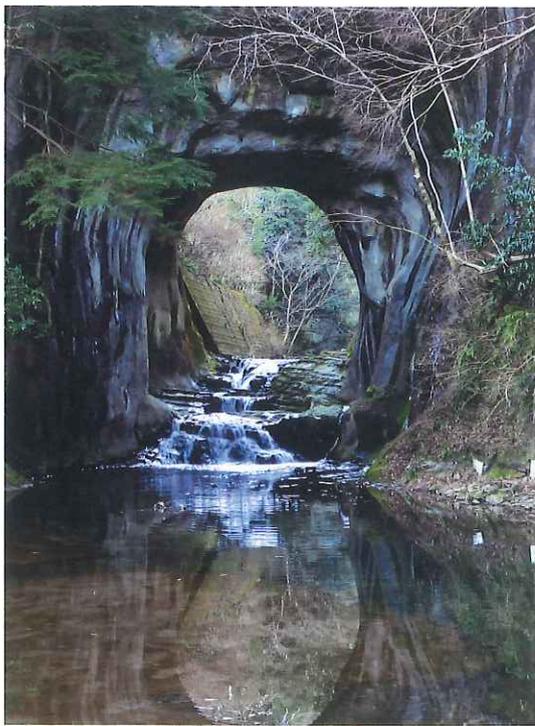
●養老渓谷は整備された遊歩道があり、新緑や紅葉の時期はとくに混雑する。「滝めぐりコース」では1〜4時間のハイキングが楽しめる



●養老川に架かる2連の観音橋。朱塗りの太鼓のような欄干はじつに見事。渡った先には源頼朝が再起を祈願したと言われる出世観音がある

出口が上下に!? 不思議なトンネル

●県道から旅館川の家へ続くトンネルを進むと、出口近くで現れるのが縦に2つ並んだトンネル出口。照明も緑がかっていまるでSF映画のような景観だ。対面通行なので大型車が通る際は注意が必要



養老渓谷最大、栗又の滝

●落差約30mで幅も広く、養老渓谷を代表する栗又の滝。滑るように落ちる水が美しく雄大。ほかにも千代の滝や万代の滝、昇竜の滝など多くの個性的な滝が点在し、マイナスイオンでリフレッシュできた



光が織りなす 神秘的な光景

●約350年前の江戸時代、笹川の流れを短縮するために人力で掘削して洞窟を切り開いたのがはじまり。神秘的なトンネルと滝はまさに秘境といった感じ

百聞は一見にしかず 絶景求めてハイキング

道の駅 ふれあいパーク・きみつ

千葉県君津市笹字椿1766-3 ☎0439-39-3939 無休



●バス釣りのメッカとして知られる亀山湖と隣にある笹川湖のそばにあり、片倉ダム記念館が併設される。リーズナブルな朝摘み野菜と新鮮な卵が人気で、週末は昼過ぎまで混雑するほどの賑わいよう

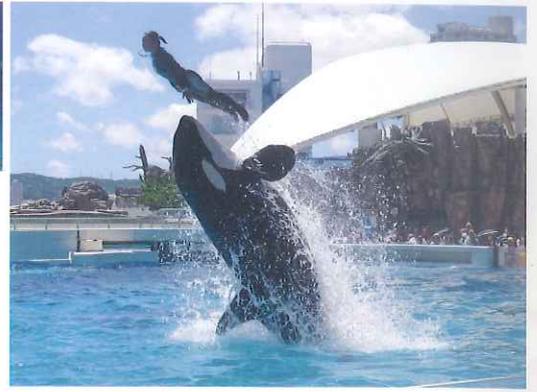
ロケーションだ。うれしいのは、目の前に七里川温泉があり日帰り入浴ができること。また、パーク内にあるゲストハウスで囲炉裏を利用したバーベキューが楽しめるのも大きなポイントだ。車内で就寝の準備だけしておいて、ゲストハウスでくつろぎながら食事なんてこともできる。ストープも完備しているので四季を問わず快適。夜は満天の星を眺めながら優雅な時間を過ごすことができた。

翌日は七里川からクルマで10分ほどにある景勝地・養老渓谷からスタート。この辺りは温泉郷としても知られるほか、キャンプや溪流釣りでも人気のエリア。点在する滝は近年ではパワースポットとしても知られており、ハイキングがてら滝巡りをする人も多いそうだ。

鴨川シーワールド

千葉県鴨川市東町1464-18 ☎04-7093-4803 開園時間9:00~16:00 (日によって異なる)
無休 入園料大人2800円、4歳~中学生1400円

●海の生物たちのショーをはじめ、エサをあげたり、直接触れてみたりとさまざまな体験ができるのがいちばんの魅力。2015年には新展示施設であるクラゲライフを開設し、クラゲという神秘的な生き物の生態が楽しく学ぶことができる



房総半島観光の醍醐味 海の魅力も余さず



道の駅 和田浦WA・O!

千葉県南房総市和田町仁我浦243 ☎0470-47-3100 不定休

●和田浦は、日本で5か所しかない捕鯨基地の1つとして知られる。駅舎外には全長26mもの巨大なシロナガスクジラの骨格標本(レプリカ)を展示。食事処ではクジラ料理をはじめ、房州名物のさんが焼きなどが楽しめる



道の駅 鴨川オーシャンパーク

千葉県鴨川市江見大夫崎22 ☎04-7096-1911 無休



●アワビをイメージした建物の特徴。物産館では乾物や干物などが人気。食事処では旬の海の幸が堪能できる。駅舎を囲むように人口磯の潮だまりプールがあり、夏場はファミリーで賑わう。無料の足湯もあり



旅の締めくくりは 沈む夕陽と 彼女の笑顔

●家族連れに人気の潮干狩り場。以前沖合にあった密漁監視小屋へ送電していた電柱が今も残っており、海の中へと電柱が連なる景色はどこか幻想的。夜間は対岸の工場夜景も楽しめる

ルカをはじめとしてベルuga、アシカの
パフォーマンスが楽しめるだけでなく、
ペンギンやピリカ、ベリカンなどの珍し
い動物も見ることができた。
そして、国道410号線を北上しながら
お土産や地元物産を買うため道の駅に
立ち寄る。千葉県は海に囲まれているだ
けあり新鮮な魚介が豊富。食事処も刺身
や焼き魚、煮魚と目移りしてしまうほど
の充実ぶり。旅の最後はアクアラインか
らほど近くにある江川海岸へ。これもS
NSで話題のスポット。海岸沿いに不思
議な景色が見られると聞き、期待も高ま
る。ちょうど日が暮れるころに到着。目
の前には海面に向かい送電線がまっすぐ
並び、夕日とのコントラストもあってさ
らにその幻想さが増し、夢心地になった。
思いつきでいると走りまわった3
日間。キャンピングカーがあればこんな
自由な旅ができるのだとあらためて実感。
キャラバンの静粛性や機動性のよさも旅
を快適にしてくれた大きな要因だった。

全席前向きに乗車できるファミリーバンコン

Vehicle **Bross** ビークル・ブロス

①ビークル ☎048-927-5678 <http://vehicleweb.co.jp/>



●マルチアクションのセカンドシートとサードシートで作るメインベッドは2100×1500mm、長さ1800mmの上段ベッドも標準装備だ



●キッチンカウンターは車両後部に配置。冷蔵庫はメインベッドから手が届く位置にセットされている。シャワーは車外に引き出せる



●収納や積載の作業性考慮し、カウンターを左右に振り分け床面積を確保。夜間の積み下ろしで重宝するラゲッジ用LED照明も装備



走 行中、すべての座席で前向きに乗車できるのがブロスの魅力。全幅1.7m以下の標準幅ベースなので取り回しがよく、多人数乗車もこなせるのでミニバンからのステップアップにも最適。

ダイネットやベッドへの作り替えも簡単。マルチアクションのセカンドシートをフラットにして、

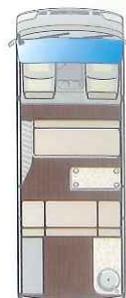
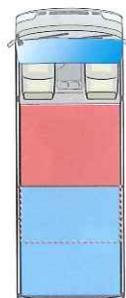
サードシートを兼ねたマットをスライドバーの上に並べるだけで下段ベッドが完成。ハイルーフの高さを生かした上段ベッドも標準装備で、ベッド長は1080mmと余裕たっぷり。シンクと収納は後部に集約され、荷物の積載や車外に引き出せるシャワーなどバックドア側からの使い勝手も良好だ。

Specification

乗車定員 就寝人数 登録ナンバー
7人 2+3人 8

NIGHT

DAY



ベース車両

バンDX
スーパーロングボディ
標準幅ハイルーフ

価格

404万5000円～

標準装備

シンク/10ℓ給排水タンク/カセットコンロ/49ℓ冷蔵庫/ベンチレーター/105Ahサブバッテリー/100Vコンセント/走行充電システム/外部AC電源入力/集中スイッチほか

オプション

FFヒーター/サイドオーニングほか

評判のレイアウトにワイドのゆとりをプラス

Vehicle **Bross WIDE** ビークル・ブロス ワイド

①ビークル ☎048-927-5678 <http://vehicleweb.co.jp/>



●木目の美しさを強調する曲面仕上げのキッチンは後部に配置。標準幅に比べラゲッジスペースの幅が広がりワイド幅のゆとりを実感



●マルチアクションのセカンドシートとサードシートで作るメインベッドは2100×1500mm、横方向に余裕があり大人3人が寝られる



乗 員みんなが前向きに乗車できる3列シートの利便性はそのままに、ワイド幅ならではのゆとりをプラス。3人がけのREVOセカンドシートは標準幅の1200mmから1500mmにサイズアップし、ベッドの横幅も標準幅比で下段+200mm、上段+180mmに。

キッチン&調理台と収納棚をバ

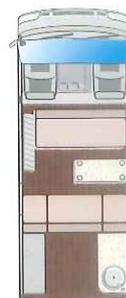
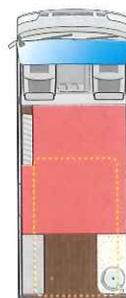
ックドア側に配したレイアウトは標準幅モデルと同じだが、ワイド幅はラゲッジスペースの床面積が増していて、大物のキャンプ道具や大型犬のケージも積載しやすい。防水シートや15インチアルミ、メッキパーツでドレスアップしたクロムギアパッケージをベースに選べるのもブロスワイドの魅力だ。

Specification

乗車定員 就寝人数 登録ナンバー
7人 3+3人 8

NIGHT

DAY



ベース車両

キャンピング種車
スーパーロングボディ
ワイド幅ハイルーフ

価格

400万5000円～

標準装備

シンク/10ℓ給排水タンク/カセットコンロ/49ℓ冷蔵庫/ベンチレーター/105Ahサブバッテリー/100Vコンセント/走行充電システム/外部AC電源入力/集中スイッチほか

オプション

FFヒーター/サイドオーニングほか



マットすべてが運転席側のルーフサイドにスッカリ収まる上段ベッドは頑丈なフレームを組んで設営。オーバーヘッド収納も備わる

ベッドメイクのわずらわしさを解消

Vehicle

Granbell

ビークル・グランベル

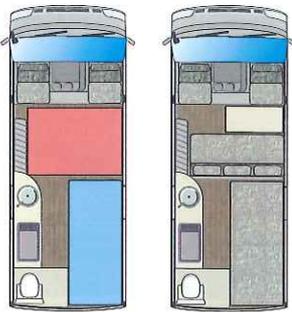
☎048-927-5678 <http://vehicweb.co.jp/>

Specification

乗車定員 5人 | 就寝人数 2人 | 登録ナンバー 8

NIGHT

DAY



ベース車両

キャンピング種車
スーパーロングボディ
ワイド幅ハイルーフ

価格

414万5000円～

標準装備

シンク/10ℓ給排水タンク/40ℓ冷蔵庫/ベンチレーター/105Ahサブバッテリー/100Vコンセント/走行充電システム/外部AC電源入力/マルチルーム/ベッド下収納庫ほか

オプション

カセットトイレ/FFヒーター/チャイルドベッド延長ほか



荷室やカセットトイレの設置などさまざまな用途に使えるマルチルームや、面倒なベッドメイクが不要の常設ベッドなど、大型のキャンピングカーではおなじみの装備をバンコンで再現するため、キャラバン最大の室内空間を誇るスーパーロングワイド幅ハイルーフを採用。定番のDXやキャンパ

ー専用車から、ドレスアップ志向の強いクロムギアパッケージまでベース車の選択肢も豊富だ。

ダイネットはREVOセカンドシートとフロントシートの背もたれマットを対面させる(キャンパー専用車にオプション設定)独自のアレンジ。夫婦2人旅や孫とのドライブを想定したレイアウトだ。



●常設ベッドは下段1800×750mm、上段1800×670mm。それぞれにスイッチ付き照明が備わる。ベッド下は大容量の収納スペース



●スライドドアの横にキッチンカウンターが備わる。見た目の美しさだけでなくスムーズに乗り降りできるように曲面仕上げとした



●バックドア/車内双方からアクセスできるリヤマルチルーム。サイズは縦780×横940mmでラゲッジスペースやトイレルームに活用できる

優雅な2人旅を演出するゆとりのダイネット

Vehicle

Duo type C

ビークル・デュオ type C

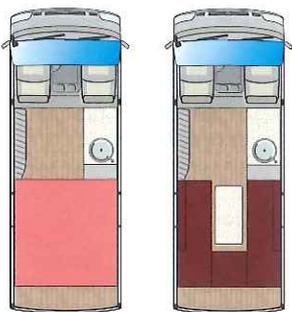
☎048-927-5678 <http://vehicweb.co.jp/>

Specification

乗車定員 6人 | 就寝人数 2+1人 | 登録ナンバー 8

NIGHT

DAY



ベース車両

バンドXロングボディ
標準幅ハイルーフ

価格

417万円～

標準装備

シンク/10ℓ給排水タンク/49ℓ冷蔵庫/105Ahサブバッテリー/100Vコンセント/走行充電システム/外部AC電源入力/6連集中スイッチ/シート下収納庫/遮光カーテンほか

オプション

電子レンジ/FFヒーター/サイドオーニングほか



多人数乗車が可能な横がけシートを備えるものの、基本的にはここ数年トレンドになっている大人の2人旅仕様。スライドドア付近の炊事スペースと車両後部の居住エリアを隔てて、旅先での優雅なひとときを演出する。

スライドドア対面のカウンターにシンクや冷蔵庫、電子レンジ(オ

プション)をビルトイン。サイドオーニング下で食事をする場合には使い勝手のいい位置関係だ。

ボトルラックと調味料棚を兼ねたパーテーションで仕切られた居住空間にはコの字ダイネットが備わり、背もたれマットを敷くだけでワイド幅を生かしたゆったりサイズのベッドに作り替えられる。



●冷蔵庫や2ℓのペットボトルが8本入るラック、シンクが備わるキッチン。引き出し収納にはオプションの電子レンジを収められる



●コの字ダイネットや長さ1800×幅1700mmのベッドに展開。テーブルをセットしたままベッドを設営でき、お座敷感覚でつくれる



●バックドアと車内双方から荷物を出し入れできるラゲッジスペース。横がけシートの間も荷室として使え、長尺物も楽に積める